



早生樹コウヨウザン普及の取組について

広島県農林水産局林業課 酒井 将秀

報告の内容

- 1 はじめに
- 2 これまでの取組について
- 3 採種（穂）園造成に向けた取組について
- 4 関係団体との連携と普及について
- 5 今後の取組について

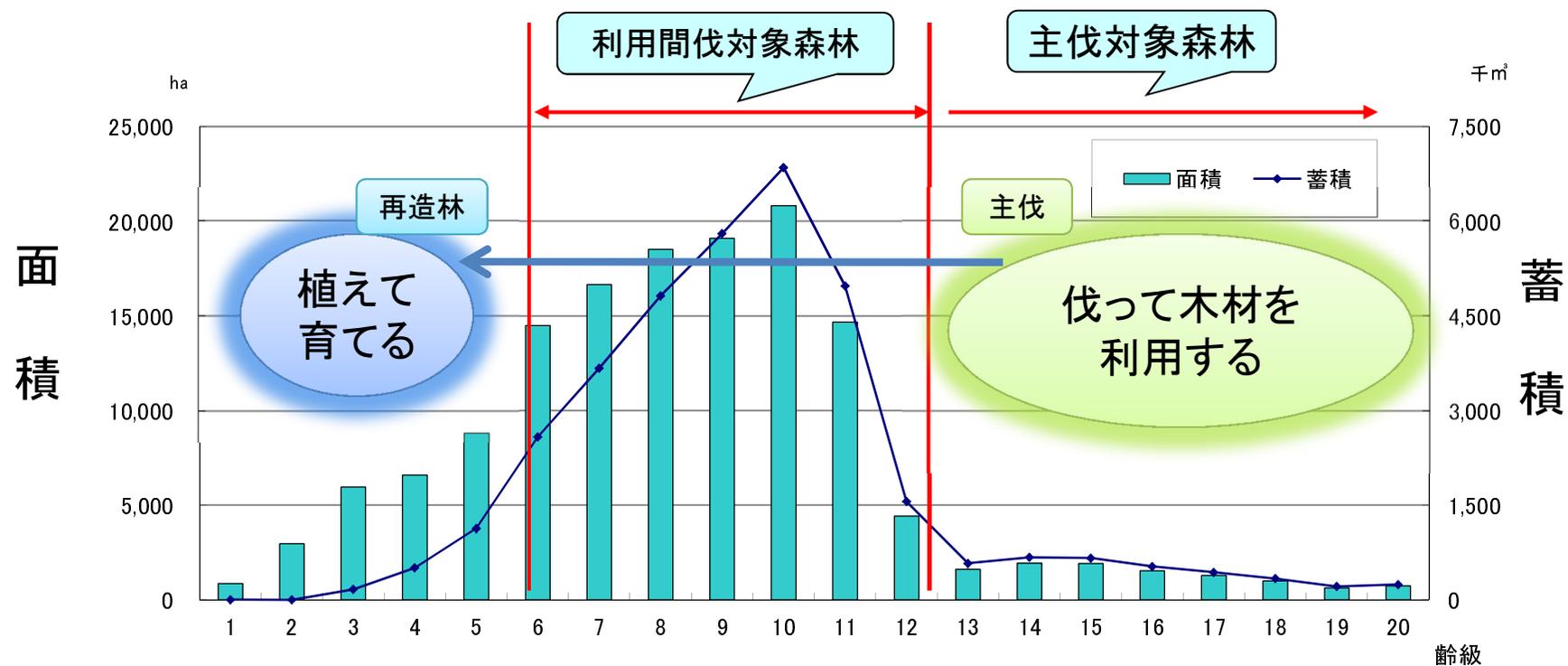


1 はじめに

◆人工林の状況

- 人工林が成熟し，利用期を迎えつつある。

県内のスギ・ヒノキ人工林の資源状況



資料：2020広島県農林水産業チャレンジプランアクションプログラム平成27年度～29年度

1 はじめに

◆林業は転換期

- ・木材の生産は，間伐から，主伐へと移行する。
- ・主伐したら，植えて育てる仕組が必要である。
 - ▶森林資源の循環利用の仕組づくり

◆森林所有者の方の思い

こう思う方が増えて
いるようです。

- ・山づくりをしても，儲からないのでは？
- ・子供や，孫の負担になるのでは？



◆山づくりをしてもらうには？

- ・山づくりにかかる費用を，安くできればよいのでは？
- ・自分の代に植えて，自分の代で収穫できればよいのでは？

1 はじめに

◆山づくりにかかる費用を安くするためには？

- ・ 植える手間を減らせないか？
- ・ 下刈りなどの回数を減らせないか？

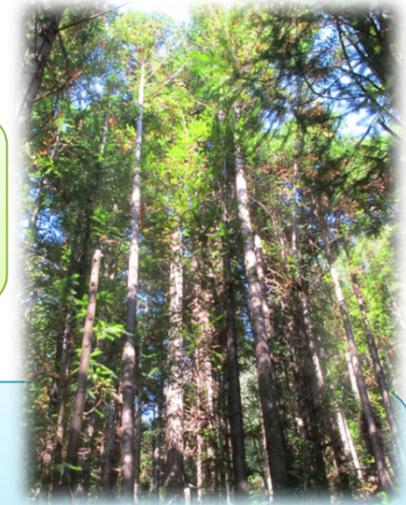
◆自分の代で植えて、自分の代で収穫するには？

- ・ 短期間で大きくなって収益性の高いものを植えられるか？

ヒノキ科の針葉樹で、中国・台湾が原産国となっており江戸時代には国内の寺社等に植栽された

早生樹**コウヨウザン**の可能性

スギ・ヒノキに次ぐ造林樹種
短期間で収穫し、植えないで、萌芽更新で育てる



1 はじめに

◆コウヨウザンの可能性とは？



2 これまでの取組について

◆ コウヨウザンの可能性を探る【7年間】（H20～26年度）

調査・検討

年度	取組の内容	
H20 1年	契機	成長の良さや萌芽更新について調査（コウヨウザン造林地(庄原市)）
H21 4年	成長	文献や現地調査等から成長量を確認 成長の良さ
H25 1年	種子	種子の確保を模索 苗木生産に繋がる 輸入で種子を確保
H26 1年	材質	試験的に製材品をつくり強度を試験※1 材質の良さ

※1: 林業技術指導担当・林業技術センター・中国木材(株)の三者で実施

コウヨウザン植栽に向けた取組を本格化

2 これまでの取組について

◆ 植栽へ取組む【3年間】 (H27~29年度)

研究・普及

年度	取組の内容	
H27 3年	共同研究	製材品の強度試験結果などから優良なものを選ぶ研究が始まる(農食研) (林木育種センター(国)・林業技術センター(県)・鹿児島大学・中国木材(株)の4者による共同研究(H27~29年度))
	造林事業	国へ補助対象樹種の対象とする申請を行なう 承認(全国初) 植栽 H28: 1.6ha(実績) H29: 9.1ha(実績) 調査・研究から実践へ
H28~ H29	みらい 基金※1 関連	コンテナ苗生産・モデル林整備(耕作放棄地等へ植栽)等の取組が始まる ※1 農林水産業みらいプロジェクト助成事業(農林中央金庫から基金拠出された「農林水産業みらい基金」により実施されている事業) 事業主体:(一財)森林整備・農業振興財団, 広島県樹苗農業協同組合(H29~31年)
		【共同研究】植栽地・モデル林の形質・成長量調査や優良なものを選ぶ研究が始まる(林木育種センター(国)・広島県(林業課・林業技術センター)・(一財)森林整備・農業振興財団の3者による共同研究(H29~31年))

コウヨウザン植栽の実践へ踏み出す

2 これまでの取組について

◆ わかってきた課題

課題と対応（案）

区分	課題	対応(案)
苗木	優良な種子や穂木をつくる	県(国)内の優良なものから採種(穂)園を造成する
	苗木を確実につくる	苗木の作り方を調査・研究して, その成果からマニュアルを作成する
植栽	どこに植えていくか	文献や植栽地の調査結果から植栽適地判定地図を作成する
	シカやウサギの食害を防ぐ	食害の実態を調べ防除方法を検討する
	植栽・育林の方法	文献や植栽地の調査結果からマニュアルを作成する
	森林の更新方法	萌芽更新の方法を確立する
	花粉についてよくわかっていない	アレルギーや花粉発生量を調査する
木材利用	材質の評価の精度を上げる	強度試験の数を増やす
	何に使えるか	集成材・LVL・合板等への利用を検討する

今回の報告

3 採種（穂）園造成に向けた取組について

◆採種（穂）園とは？

- ・苗木をつくる種子や穂木を採るため、成長が早く、真っ直ぐに育つなど優れた特徴をもつ木を育てる樹木園のこと。

◆安定的に優れた苗木をつくれることが必要

- ・現在、輸入した種子から苗木をつくっており、これに加え、国内にある優れたコウヨウザンから種子や穂木を取って、苗木をつくれるようにする。



◆植栽に繋げる

- ・森林所有者が植えたいと思えば、植えられる環境を整える。

3 採種（穂）園造成に向けた取組について

広島県のコウヨウザン



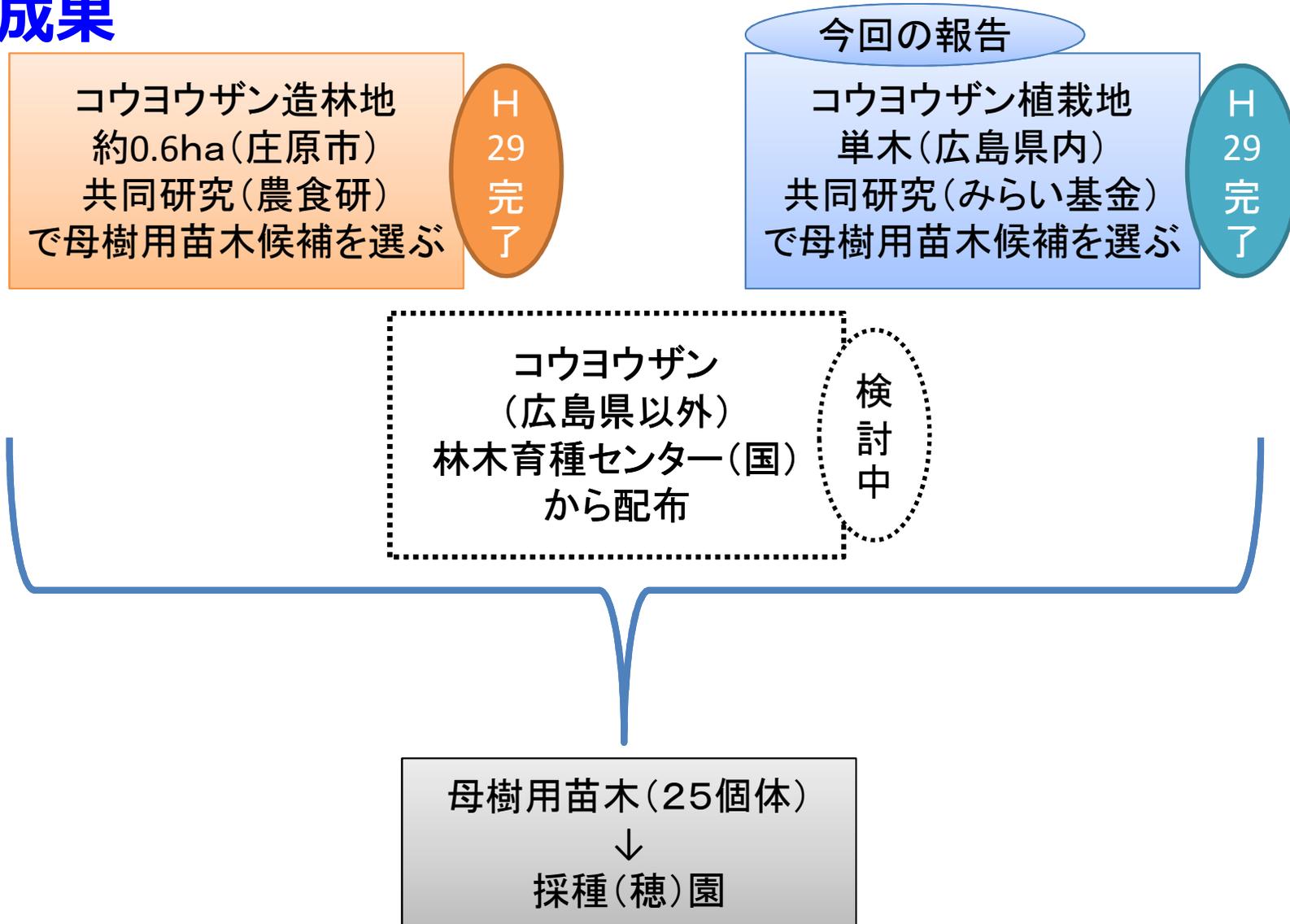
3 採種（穂）園造成に向けた取組について

◆イメージ



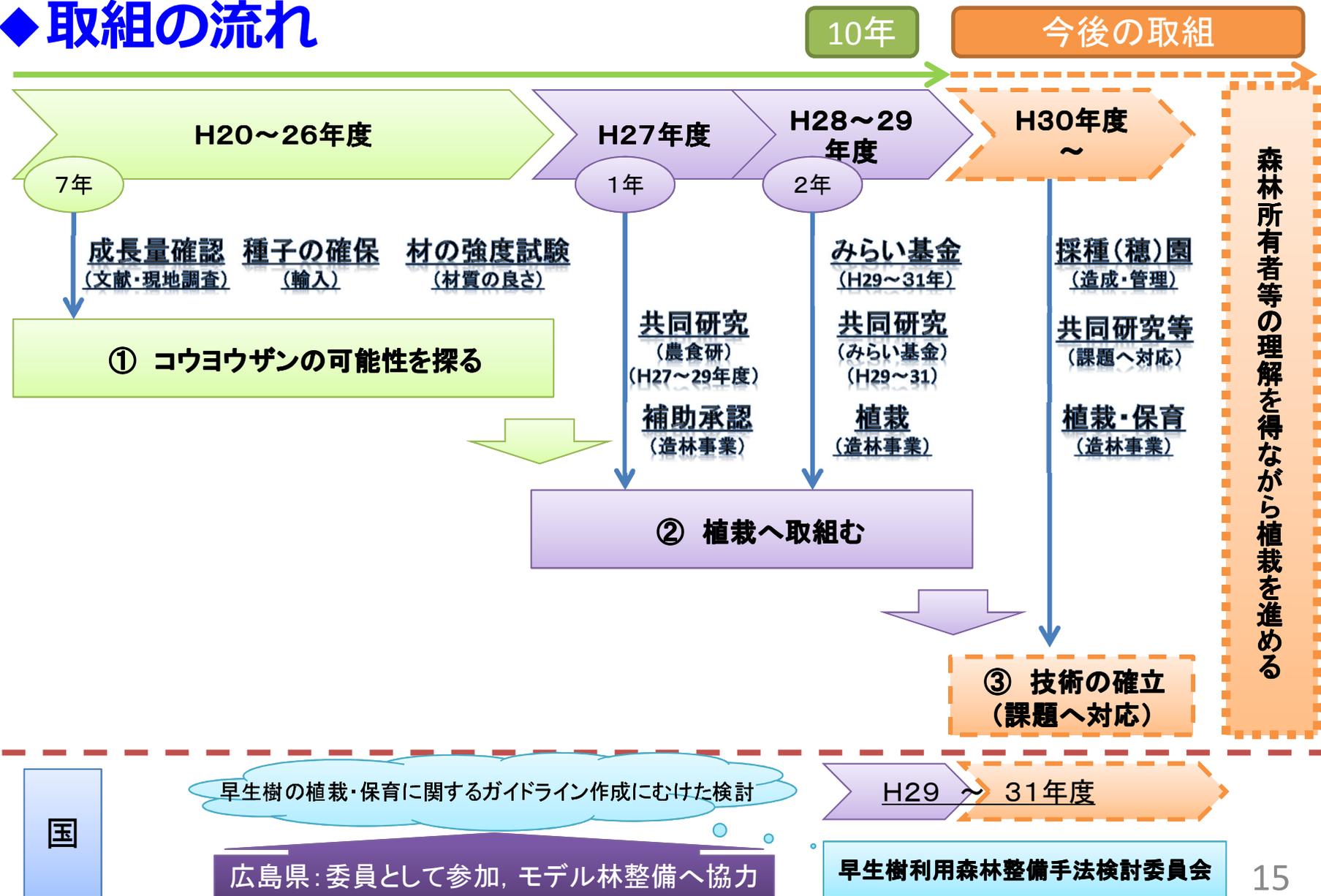
3 採種（穂）園造成に向けた取組について

◆成果



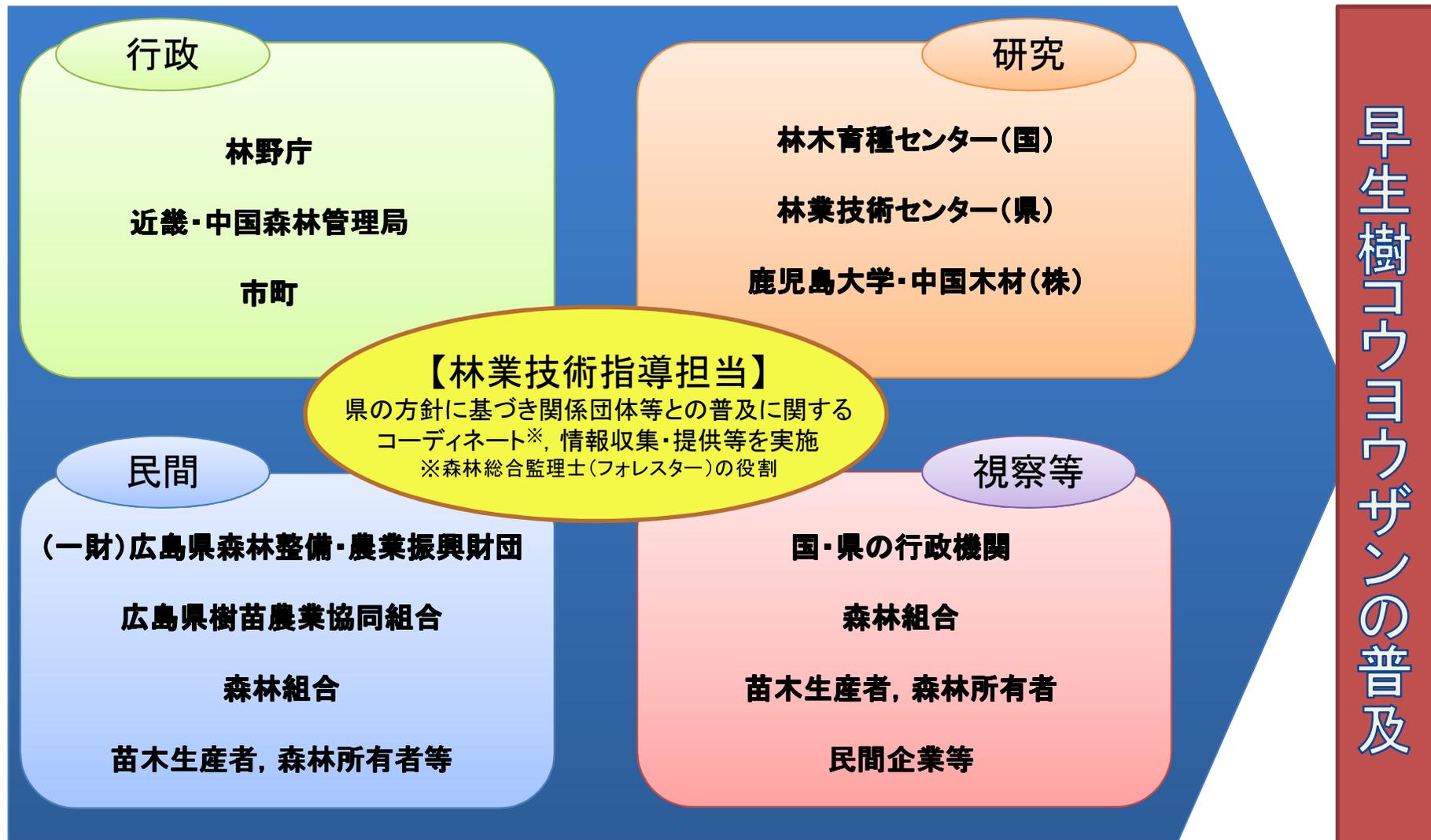
4 関係団体との連携と普及について

◆取組の流れ



4 関係団体との連携と普及について

◆ 林業技術指導担当の役割



4 関係団体との連携と普及について



◆ 苗木生産指導・調査

○コウヨウザンの苗木生産指導や生育状況調査を行いました。



コウヨウザンの苗木の育て方や規格などの基礎データとなります。

◆ 視察受入・研修会開催

(コウヨウザン造林地(庄原市))

○広島県内外からの視察受入や研修会を開催したところ多数の参加がありました。
(H26~H30年10月末まで)



52件(延べ件数)
510名(延べ人数)



4 関係団体との連携と普及について



◆ 現地調査

○コウヨウザン植栽地の調査を実施しました。



コウヨウザンの植栽や保育方法の基礎データとなります。

◆ モデル林整備

○国が設置するコウヨウザンのモデル林整備に協力しました。



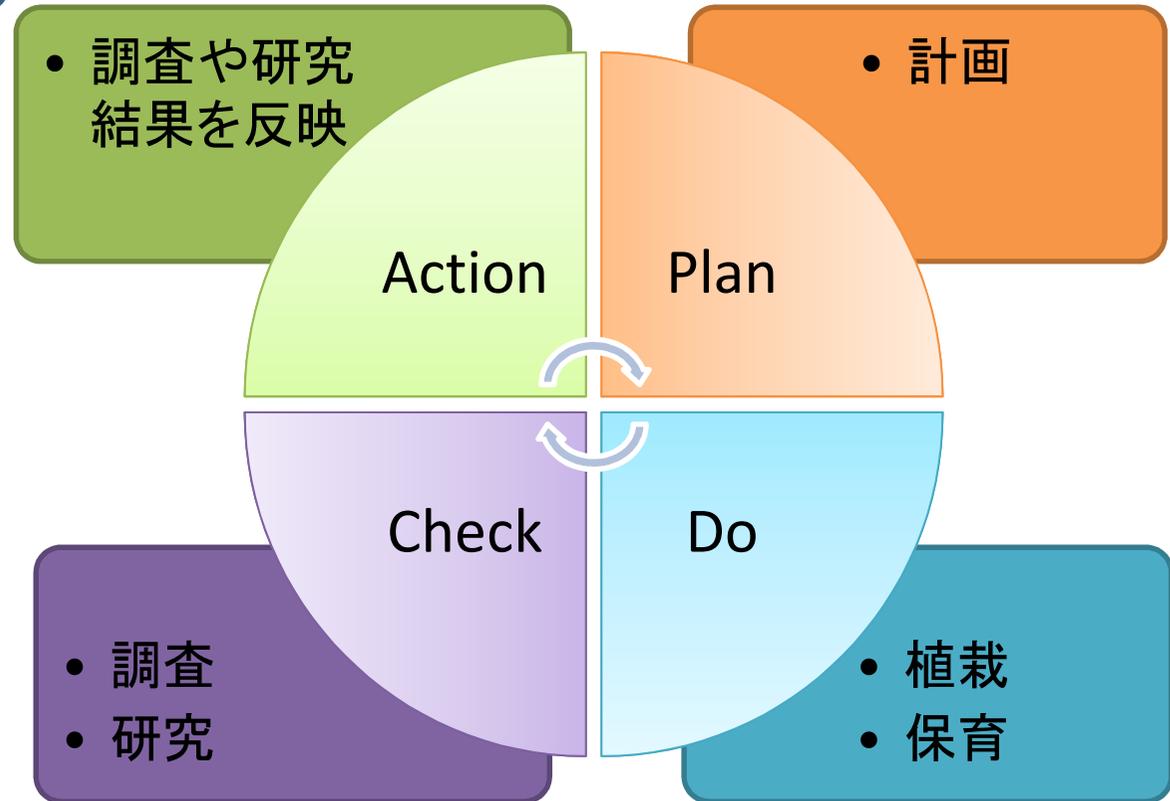
今後、調査が行われ国が作成する「ガイドライン」の基礎データとなる予定です。



5 今後の取組

植栽の拡大

県内一円へ植栽を通じ
PDCAを通じ



技術の確立

県・国の研究機関などと連携して
苗木生産や植栽・育林に関する技術を確立

ご清聴ありがとうございました。



お礼
コウヨウザンの調査・研究・普及に当たりまして
森林所有者の皆様はじめ多くの方々のご協力をいただきました。
ありがとうございました。